事務事業評価シート2(一般事業)

1 基	本情報		事業番号	0145/1507	05/08/	05/08/00		05/08/00		5/08/00 事業の類型		の類型	5
年度	19 事務事業名	しあわせ基金事業	ŧ	作成日	平成21年1月20日 重要		重要度	4					
予算	事業名	しあわせ基金事業	ŧ	担当部課名			健康短线	止 建					
政策	名	すこやかに暮らせ	せる、心かようまちづくり	ᄪᆿᄞᅑᇻ	健康福祉課								
施策	名	健康づくり		実施計画への	記載	無	主要事業	業の指定	無				
根拠	法規及び関連法規	! 相生市しあわせ基金条例											
事業	誰のために(具体 的に)	在宅高齢者	在宅高齢者										
の	誰(何)を対象として	社会福祉協議会	:会福祉協議会、ボランティア協会										
目的	意図(どのような状態にしたいのか)	社会福祉協議会	、ボランティア協会の活	動を支援し、在宅	言福祉の)向上を	図る。						

2 事業の概要 Do

		市が在宅高齢者のため、社会福祉協議会、ボランティア協会の活動を支援し、高齢者等送迎サー ビス、ふれあいいきいきサロンの開設等、在宅介護者支援事業を実施する。							
\ -	項目	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度計画			
活動	リフトバス派遣回数	回数	459	683	657	480			
実	ふれあいいきいきサロン開催回数	回数	120	120	120	120			
績									

3 投入	資源	会計区分	一般会計					事業費.	単位:円
インプット	指標	17年度決算	18年度決算	前年比	19年度決算	前年比	20年度予算	前年比	備考
	課長以上職員	0.10	0.083	76.9	0.085	102.4	0.081	95.3	
人員	主幹以下職員	0.03	0.040	133.3	0.040	100.0	0.040	100.0	
	臨時職員	0.00	0.000	_	0.000	_	0.000	_	
	人件費	1,224,88	1,057,554	86.3	1,087,625	102.8	1,042,052	95.8	
支出内訳	事業費	1,400,00	1,250,000	89.3	1,250,000	100.0	1,250,000	100.0	
	合計	2,624,88	2,307,554	87.9	2,337,625	101.3	2,292,052	98.1	
	国庫支出金			_		_		_	
	県支出金			_		_		_	
財源内訳	市債			_		_		_	
外源内武	その他	1,400,00	1,250,000	89.3	1,250,000	100.0	1,250,000	100.0	
	一般財源	1,224,88	1,057,554	86.3	1,087,625	102.8	1,042,052	95.8	
	合計	2,624,88	2,307,554	87.9	2,337,625	101.3	2,292,052	98.1	

4 評価指標

【有効性】

E 137751-2									
指標名1		活動実績							
指標説明	(式)	リフトバス派遣回	数						
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
回	目標	220	480	218.2	480	100.0	480	100.0	
四	実績	459	683	148.8	657	96.2			
		1						•	

指標名2		活動実績	舌動実績						
指標説明	(式)	ふれあいいきいきサロン開催回数							
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
回	目標	120	120	100.0	120	100.0	120	100.0	
	実績	120	120	100.0	120	100.0			

【効率性】

指標名1		活動実績の1件当たり補助金コスト(リフトバス)							
指標説明	(式)	支出事業費÷リス	フトバス派遣回数	女					
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
円	実績	738	496	67.2	517	104.2	708	136.9	
指標名2		活動実績の1件	-当たり補助金	コスト(,	ふれあいいきし	いきサロ	コン)		
指標名2 指標説明	(式)	活動実績の1件 支出事業費÷ふ		•		いきサロ	1ン)		
			れあいいきいき	•	催回数			前年比	備考

5 事業の評価(19年度実績) Check

	•урград (, • г	1000		
評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性		しあわせ基金の目的に照らして、妥当である。	3	4
УП	市の関与の妥 当性	基金の管理主体として、市が関与する必要がある。	,	1
有効性	成果目標(改善)達成度	リフトバス派遣回数の上昇に伴い、ボランティアの育成等が図られている。	3	2
	市民サービス	ボランティアの育成や事業実施に伴い、高齢者サービスは増加している。	3	3
効率性	コストの節減	補助金額は平成17年度に比べ減少しているが、活動実績は上昇しているので、費用対効果が上昇していると言える。	3	v
N + IT	手段の最適性	ボランティア団体の育成は民間ではできにくい。	3	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容	
			重要度(方 向性) 5
	の改革改善 ^{結果を踏まえた}	Action 20年度の改革改善内容	効率性 妥当性
評価視点	具体的な評価観点	内容	
			有効性

(2)20年度の実施方針

H19→H20予算反映額

継続実施する。	
---------	--

検討の有無	ı
総合指標	20